

## 駒込ダム掲示板を更新しました！！

駒込ダム建設所では、駒込ダムの必要性や事業の進捗状況について、ホームページの他に掲示板でもお知らせしています。

掲示板の設置場所は、駒込ダム建設所前、東青地域県民局地域整備部のロビー、駒込川沿い4箇所の計6箇所に設置しており、駒込川沿いの設置場所は、下流側から八甲橋、松桜橋、南桜川橋、駒込橋のいずれも左岸側です。今年度の工事完成に伴い、12月26日に掲示板を更新しましたので、付近にお越しの際には是非ご覧ください。

◇駒込ダム建設所のホームページ↓「駒込ダムを建設する目的・効果などが分かります！」

<http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/komagomedamtop.html>

### 駒込ダム建設工事実施状況 (2018年12月)

駒込ダムに関するお問い合わせ  
東青地域県民局地域整備部 駒込ダム建設所  
住所 青森市中央3丁目20-1  
TEL 017-777-3812

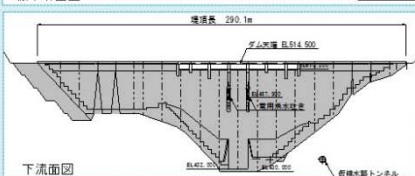
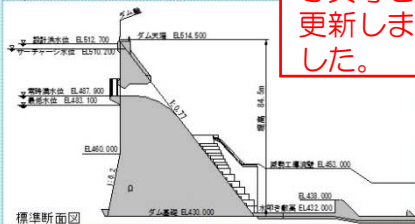
#### ～駒込ダムの必要性～

堤川は、横内川、合子沢川を合流し、私たちの住む青森市のほぼ中央を流下しながら、下流の住宅密集地で駒込川を合流して青森湾に注いでいます。堤川水系は過去にたびたび大雨による被害を受けている、洪水の危険度が高い川です。

このため、県では堤川水系の河川改修を進めるとともに、下湯ダム、横内川多目的遊水地を計画的に整備してきており、駒込ダムが完成することで堤川や駒込川の洪水を防ぐことができます。

#### 駒込ダムの概要

- 目的: ① 100年に1回発生すると想定される規模の洪水に対して被害を防ぎます  
② 河川環境の保全・かんがい用水等を確保するために水を流します  
③ ダムの水を有効利用して発電を行います
- 形式: 重力式コンクリートダム
- 堤高: 84.5m
- 堤頂長: 290.1m
- 総貯水容量: 7,800,000m<sup>3</sup>



写真等を更新しました。

#### ～駒込ダムができるまで～



#### ～工事の進捗状況～

現在は、駒込ダムの建設に必要な施工機械や資機材などを運搬する4号工用道路の工事を中心に実施しています。工事箇所の地形は、非常に急峻であり既設道路もないことから、片押し施工（一方からのみ工事を進める方法）で進めています。



#### ～4号工用道路施工状況～

2008年4月から4号工用道路の工事を進めています。道路は、幅7m、延長940mで計画しています。2018年は、約92mの延伸工を行い、延長約650mまで完成しました。

現在工事を進めている区間は、これまでよりも更に急峻な斜面であるため、切土や盛土を主体とした道路を計画することは困難でした。このため、2018年から全区間を橋梁形式「鋼製橋道工（メタルロード工法）」で計画しています。



八甲橋



松桜橋



南桜川橋



駒込橋

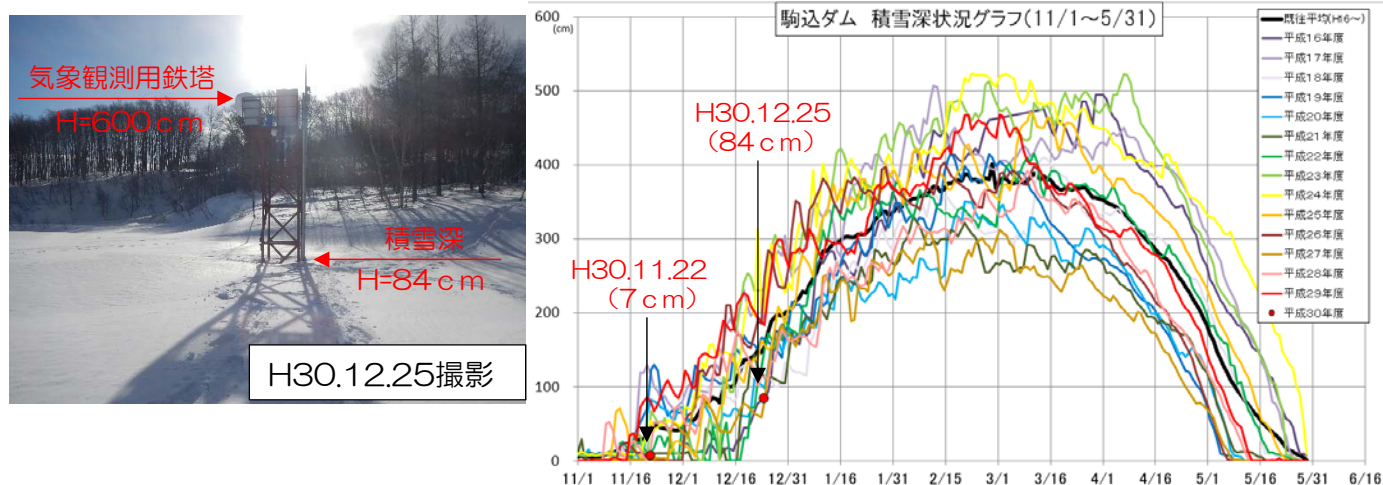


#### 掲示板更新作業中の写真です！！

掲示板が大きいので4人掛かりの作業です。支柱両側の2名が脚立に上がり、息を合わせて取り外し・設置を行い、下の2名は工具を渡したり、取り外し・設置の補助を行っています！雪は降っていませんでしたが、時折強い風が吹いていたため、注意して作業し無事に更新を終えることができました。

## 駒込ダム建設予定地 積雪状況【1m弱！】

駒込ダム定点観測地点の積雪状況を報告します。今年の積もり始めは11月下旬となり、例年より遅めとなっています。11月22日に7cm、12月25日に84cmとなりました。ちなみに気象庁（酸ヶ湯観測所）では同日、それぞれ32cm、142cmとなっています。



## 駒込ダム ボーリングコア確認！【現地技術指導】

駒込ダム周辺の地質は、八甲田火山の影響により複雑な構造となっています。

このため、県では国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人土木研究所による指導を受けています。

今年は12月18日～19日に、倉庫内に広げた24本のボーリングコアを一本一本丁寧に観察し、岩盤の状況等について技術的な指導を頂きました。

今後も専門家の意見等を踏まえ、駒込ダムがより一層安全な構造物となるよう努力を重ねるとともに、早期完成を目指していきます。



ボーリングコアの観察状況

## 雪景色となった下湯ダム

青森市では、11月22日に初雪を観測し、平年よりも16日遅いという報道がありました。

標高288mに位置する下湯ダムでは、12月14日時点で積雪深が1mを超え、すっかり雪景色となりました。

ダム本体、貯水池、ダムに係る施設等を常に良好な状態に保つため、冬期とはいえ、日常の巡視や点検が欠かせません。除雪を伴うなどの理由から、冬期以外の時期に比べ、かなりの作業時間を要しますが、緊張感を持って業務に臨んでいるところです。



雪化粧の下湯ダム（下湯平成湖）



下湯ダム管理所前の除雪状況



取水塔内の電気操作盤点検状況

## ～編集後記～

平成30年のダム新聞も今月号で最後となりました。今年も一年間お付き合い頂きありがとうございました。来年もダムに関するさまざまな情報をお伝えしていきますので、よろしくお願いいたします。